

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	2372600979
法人名	有限会社 アール・ザ・エイチ
事業所名	グループホーム 虹の家
訪問調査日	平成19年12月20日
評価確定日	平成20年2月4日
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ

**項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**記入方法**  
**[取り組みの事実]**  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
**[取り組みを期待したい項目]**  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。  
**[取り組みを期待したい内容]**  
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2372600979
法人名	有限会社 アール・ザ・エイチ
事業所名	グループホーム 虹の家
所在地	豊川市牛久保町天王下6番地の1 (電話) 0533-84-7808

評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ		
所在地	名古屋市中区金山一丁目8番20号 シャローナビル7A		
訪問調査日	平成19年12月20日	評価確定日	平成20年2月4日

【情報提供票より】(平成19年12月4日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年9月16日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	10 人 常勤 4人, 非常勤 4人, 常勤換算 5.3人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有(無) (無)			
保証金の有無(入居一時金含む)	(有)(200,000 円)	有りの場合償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,500 円	

### (4) 利用者の概要(平成19年12月4日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	1名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 82.8 歳	最低	67 歳	最高	97 歳
協力医療機関名	医療法人 共立萩野病院				

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは畑や田んぼ、住宅があり静かな環境である。玄関には、感染に対するお願いの文書を置いている。厨房には感染マニュアルが掲示してあり、職員に周知している。外出後のうがい、手洗いの励行、食事前の消毒など感染予防に努めている。近くに小学校があり、散歩でこども達と挨拶を交わしたり、運動会や敬老会にも参加している。ホーム行事に近隣の方に参加を呼びかけたり、散歩時に挨拶を交わし野菜などを頂いたり交流がされている。運営推進会議には、前連区長、老人クラブ会長、民生委員、包括センター職員が参加しホームの活動状況の報告や地域の行事の参加案内のボランティアの募集もされている。介護福祉士の研修も予定されている。玄関正面には虹の家「虹は七色、皆が喜び いつの時代もみんなが見守る」「人も七色 みんなに喜ばれ いつの時代もみんなを見守る」をホームの思いが掲げられている。職員からは、皆が明るく楽しく仕事をやらせてもらっているとの声が聞かれた。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善点については、管理者や職員とで実施に向けた取り組みについて話し合いがされた。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は管理者が一人ひとりに渡し説明をした。表現の難しさはあるが、理解できるところは必ず記入するように伝えた。忙しい中、職員は時間を見つけホームや自宅へ持ち帰り取り組んだ。言葉にする事は難しかったが、職員同士で話し合いまとめた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議のメンバーは、前連区長、老人クラブ会長、民生委員、地域包括センター職員、家族代表、入居者になっており、2カ月に1回開催されている。会議では、ホームの行事報告や地域行事の参加の打診などが行われている。議事録はホームに設置してあり、職員は自由に見ることができ、家族に送付はしていない。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族は来訪時に直接、職員に話すことが多い。その内容は連絡ノートへ記入し担当職員に伝え、カンファレンスで職員全員で話し合っている。苦情相談窓口は、ホームの担当者以外に、豊川市健康福祉部介護高齢課、愛知県国民健康保険団体連合会、愛知県福祉協議会を重要事項説明書に明記している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入しており、地域の文化祭や運動会に参加した。また、敬老会には区長にお願いして、ホームの入居者全員が出席した。ホームの行事には、近隣へ案内のチラシを配布して参加を呼びかけた。また、散歩時に挨拶を交わしたり野菜を頂いたりすることもある。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「誠意のある質の高い介護、穏やかで安らぎのある暮らし、和をもってお互いを尊重する豊かな心」を理念とし、常に意識して職員全員が心がけている。		地域密着型サービスとしての役割を理解しており、地域との関わりも積極的に取り組んでいる。理念の内容に地域との関わりについて記載されることを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、玄関や応接間に掲示されている。職員には入社時に説明している。理念を振り返る機会は特に設けていないが、安全、穏やかに過ごしていただくよう常に入居者の立場に立って、職員が同じ方向に向いてケアすることを心がけている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、地域の文化祭や運動会に参加した。また、敬老会には区長をお願いして、ホームの入居者全員が出席した。ホームの行事には、近隣へ案内のチラシを配布して参加を呼びかけた。また、散歩時に挨拶を交わしたり野菜を頂いたりすることもある。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の改善点については、管理者や職員とで実施に向けた取り組みについて話し合いがされた。自己評価は管理者が一人ひとりに渡し説明をした。表現の難しさはあるが、理解できる場所は必ず記入するように伝えた。忙しい中、職員は時間を見つけホームや自宅へ持ち帰り取り組んだ。言葉にする事は難しかったが、職員同士で話し合いまとめた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議のメンバーは、前連区長、老人クラブ会長、民生委員、地域包括センター職員、家族代表、入居者になっており、2カ月に1回開催されている。会議では、ホームの行事報告や地域行事の参加の打診などが行われている。議事録はホームに設置してあり、職員は自由に見ることができるが、家族に送付はしていない。</p>		<p>家族への参加を積極的に呼びかけたり、会議の内容を家族の方にも知ってもらえるよう、議事録の掲示や配布など伝達方法についても検討されることを期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>中条地域市民館文化祭には、事前にバザーの券を購入し買い物、カラオケなどを楽しんだ。前連区長さんにお願ひし、老人会に全員が参加した。市町村と協力して、ホームについてわからないことや疑問点、各ホームの把握についてなどを盛り込んだ福祉関係ガイドブックの作成を予定している。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の訪問も多く来訪時には、状況や様子が詳しく説明されている。また、入居者に担当者が決まっており、一人ひとりに手紙が添えられ、入居者の様子の写真や領収書、出納帳のコピーを毎月送付している。心身などに変化があった場合、必要に応じて家族に連絡している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族は来訪時に直接、職員に話すことが多い。その内容は連絡ノートへ記入し担当職員に伝え、カンファレンスで職員全員で話し合っている。苦情相談窓口は、ホームの担当者以外に、豊川市健康福祉部介護高齢課、愛知県国民健康保険団体連合会、愛知県福祉協議会を重要事項説明書に明記している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の異動はほとんど無く、入居者には担当者が決められている。職員の採用時には実習期間が設けられ、採否が決められる。夜間は専門の看護師や介護職員が配置されており、安心につながっている。希望休や休憩は1時間確保されているが、職員は入居者と一緒にいることを望んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の情報はホームより情報が提供され、職員が順次参加することになっている。研修を受けた職員は資料をホームに持ち帰り、カンファレンスで発表している。外部の研修には毎月、数名の職員が参加しており、外部から講師を招きホーム内で研修を実施することもある。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>豊川市介護保険関係事業者連絡協議会や愛知県グループホーム連絡協議会に入会しているが、会議などはホームのケアマネジャーが参加している。疑問が出た場合には、他のグループホームに電話で相談することはあるが、職員同士の交流までには至っていない。</p>		<p>職員が同業者との機会を通じて、情報交換やサービスの質、向上につながるよう今後の取り組みに期待したい。</p>
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前にホームを見学してもらい、入居者と一緒に食事を摂ってもらい、雰囲気味わってもらっている。また、自宅を訪問することもある。家族と本人との会話から、本人が何を求めているのが理解し、本人の言葉を大切に受け入れるよう取り組んでいる。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>毎日の生活の中で、調理や掃除、洗濯物を干したりなど、入居者は職員と一緒にいる。入居者より生活の知恵や自分がやってきたことなどを教えてもらったりする。職員の顔つきを見て「どうしたの?」とか、入浴時に「ありがとう」「悪いね、申し訳ないね」と労いの言葉をかけてもらうこともある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に本人、家族から希望や要望を聞き、職員が把握している。入居後は状態や言動の変化があると連絡ノートに記入し、その都度対応している。外出や買い物、食事の希望など担当職員よりカンファレンスで全職員に報告している。本人の思いや意向については、全員で共有し実現に向けて取り組んでいる。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者には担当職員がおり、月1回入居者の様子をケアマネジャーに伝え、担当者会議で話し合い、計画を作成している。3カ月に1回、家族とのモニタリングが実施されており、変化があった場合は、職員より連絡があり、随時変更している。変更された介護計画は、介護記録にファイルし、職員は確認するようになっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3カ月に1度、定期的に見直しをしている。モニタリングをしてサービス担当者会議にて家族からの意見も聞き計画に反映している。毎日職員が目を通す介護記録に最新の計画書も添付している。また、入居者の異変などは随時報告し、介護計画の見直しをしている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居時に本人、家族の希望があれば、かかりつけ医に継続的に受診できるよう支援している。家族の要望に応じて支援し、また、入居者の状況に応じて必要なケアを支援している。馴染みの環境でのショートステイやデイサービスを今後実施していきたいと考えている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診はできる限り、家族の方と一緒に通院してもらい、その場合の診療内容など職員が報告を聞き、支援に反映している。かかりつけ医が遠方の入居者のみ協力病院への受診を協力してもらっているが、入居時に希望するかかりつけ医があれば、継続的な受診ができるよう支援している。歯科医は必要時に往診してくれる。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期については、契約時に説明をし、家族に了解を得ている。入居者の状態などレベルの低下について、サービス担当者会議などで話し合い、家族にも伝え話しあっている。</p>		<p>ターミナルケアについて、本人や家族の意向、本人にとってよい支援を提供できるよう検討することを期待したい。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者のプライバシーや誇りを損なわないようトイレに行った時、さりげなくパットの交換の確認をしたり、タイミングをみて片付けたりしている。個人情報の関係で、行事などの写真は家族、本人に直接渡し、掲示はせず、アルバムに納め玄関に置いている。居室に入る時はノックをして入り、プライバシーの保護に努めている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の希望を聞き、その人に合わせた速度、距離での散歩を支援している。また、美容院への外出支援も行っており、訪問してもらうこともある。食事の買い物などは職員と一緒に出かけている。起床時間はおおむね決まっているが、個人の状況に応じゆっくり寝てもらおうなど、個人のペースを大切に支援に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎月、食事メニューの希望を入居者から出してもらい、献立に取り入れている。食事の準備や片付けは、できる範囲で職員と一緒にしている。食事は職員と一緒に会話を楽しみながら摂っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は月、水、金曜日、と火、木、土曜日と分かれて決めてあるが、希望があれば毎日の入浴も支援している。また、入浴とは別に水虫対策のため、足浴を支援している。バスマットは入居者別にしてあり、浴室には暖房も設置して快適な入浴支援に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で掃除や洗濯干し、たたみ、食事の準備、片付けなど、自主的に行う入居者が他の入居者を誘って自然に役割が決まっている。玄関の植物の水やりも入居者の役割になっている。裏の畑で採れる作物を入居者は楽しみにしている。年賀状や暑中見舞いの葉書きの作成の支援、季節の手紙、電話は希望時に支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員と一緒に散歩、買い物、コインランドリー、ドライブなど日常的に外に出かけている。春にはお花見、秋には紅葉などに出かけ、お弁当やおやつを作り景色を楽しみながら食している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は普段は施錠していないが、入居者が不穏で外に一人で出る回数が多い時などの場合に、状況に応じて安全のため施錠する時もある。玄関ホールに出る扉には、チャイムが鳴るようにしてあり、人の動きを察知することができる。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	近隣に避難訓練のチラシを配布して一緒に参加してもらっている。地域合同の避難訓練にも参加し、防災食を体験し、三角巾の使い方の講習を受けた。災害時における集合場所を決め、避難場所が目の前の小学校であるため、避難するには入居者への負担が少ない。防災頭巾も用意されている。		備蓄品、非常用飲料の用意はしているが定期的な点検を期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の各入居者の必要カロリーを考慮し、3回の食事の献立を工夫している。毎月、体重測定を実施し、体重の増減をチェックしている。水分はなるべく多く摂取してもらえよう支援しており、制限が必要な入居者には、必要水分量を把握し、摂取量を記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	南側に大きな窓があり、日当たりもよく、背もたれの高いゆったりしたソファがテレビを囲んで置いてある。畳のコーナーもあり、布団が干してある時に昼寝など横になることができる。壁には入居者と一緒に作ったクリスマスの飾りつけがされ、窓ガラスにもクリスマスシールが貼ってあった。玄関、台所のカウンターには花が飾られ季節を感じる工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室にエアコン、換気扇が設置してあり、空調や換気に配慮している。テレビや家具など今まで使用していた物を持ち込んでもらえるよう入居時に説明している。居室内で盆栽の手入れをしている人もおり、居心地よく過ごせるよう支援している。居室を迷われる人には、認識してもらえるよう、分かりやすい表示を工夫している。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。